

少数台数のリコール届出の公表について（平成26年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成26年10月は12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月 2日	3447	車 名：ニッサン 型 式：DBA-M20 通称名：NV200バネット	27	平成26年 9月13日～ 平成26年 9月17日
不具合の部位等	ブレーキマスタシリンダの製造工程において、検査時の治具が不適切なため、締結部に亀裂が発生したものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進展して破断し、制動距離が長くなるおそれがある。			

2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月 7日	3440	車 名：三菱 型 式：BJG-MP37TM 他 通称名：ふそうエアロスター	36	平成20年 1月 7日～ 平成22年 7月 7日
不具合の部位等	大型路線バスのハイブリッド車において、電流の変換装置であるインバータの耐久信頼性が不足しているものがある。そのため、インバータ破損により車両駆動用モータや補機用モータが作動せず、ハイブリッドシステム警告灯の点灯、出力低下が発生し、最悪の場合、走行不能、パワーステアリング機能不良となるおそれがある。			

3. 届出者：ユニキャリア株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月16日	3446	車 名：ユニキャリア 型 式：XDN-D1F4 他 通称名：ユニキャリアフォークリフト	6	平成26年 7月16日～ 平成26年 9月 4日
不具合の部位等	フォークリフトの速度計において、最高速度が20キロメートル毎時以上にもかかわらず速度計が表示しないものがあり、保安基準を満足しない。			

4. 届出者：株式会社K C M

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
1 0 月 2 0 日	3451	車 名：川崎 他 型 式：JDS-80C5 他 通称名：8 0 Z V-2 他	4 5	平成 2 4 年 5 月 9 日～ 平成 2 5 年 3 月 1 1 日
不具合の部位等	ブレーキホースの取付け角度が不適切なため、車体屈折時に前輪ブレーキホースとステアリングストッパブラケットが干渉するものがある。そのため、ブレーキホースが摩耗し、そのまま使用を続けると、ホースが破損し、ブレーキオイルが漏れて、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。			

5. 届出者：日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
1 0 月 2 1 日	3453	車 名：日立 他 型 式：UDS-H72 他 通称名：Z W 2 2 0-5 B 他	8 1	平成 2 5 年 4 月 2 2 日～ 平成 2 6 年 3 月 2 5 日
不具合の部位等	原動機支持用ブラケットにおいて、座面の塗装指示が不適切なため、塗装膜が潰れて締結ボルトの締結力が低下するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトの緩みが進行して、最悪の場合、ボルトが脱落し原動機を支持できなくなるおそれがある。			

6. 届出者：ビー・エム・ダブリュ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
1 0 月 2 3 日	外2098	車 名：BMW 型 式：S1000R 通称名：BMW S 1 0 0 0 R	4	平成 2 6 年 4 月 2 2 日～ 平成 2 6 年 4 月 2 9 日
不具合の部位等	エンジンにおいて、インテークバルブの溶接が不適切なため、インテークバルブが折損するものがある。そのため、エンジンが損傷し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

7. 届出者：キャタピラージャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1 0 月 2 3 日	外2105	車 名：キャタピラー 型 式：UDS-FER 他 通称名：9 5 0 K 他	1 8	平成 2 5 年 2 月 2 8 日～ 平成 2 5 年 6 月 1 1 日
不具合の部位等	窓ガラスにおいて、窓ガラス製造元の商標ステッカーが貼り付けられているため、道路運送車両の保安基準第 2 9 条に適合していない。			

8. 届出者：株式会社加藤製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
1 0 月 2 4 日	3454	車 名：カトウ 型 式：UDS-KRC014 通称名：カトウKRM-20H型ラフター	1 5	平成26年 8 月 5 日～ 平成26年 8 月 2 2 日
不具合の部位等	制動装置の空圧回路において、ホース取付接手の工程管理が不適切なため、不良品を取付けた車両を誤って出荷してしまった。そのため、そのままの状態で使用を続けると、長期使用により接手に錆等が発生し、空圧回路上のバルブに付着することがあり、最悪の場合、エア漏れが発生し制動力が低下するおそれがある。			

9. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1 0 月 3 0 日	外2101	車 名：シボレー 型 式：不明 通称名：H H R	1 5	輸入期間不明
不具合の部位等	かじ取り装置において、パワーステアリングモーター周辺部に使用しているグリスが不適切なため、作動熱等により変性することがある。変性したグリスがコミューター部に流れ出すと、コミューター部でショートが発生して警告表示及び警告音とともにパワーステアリングが停止するため、ステアリング操作に支障をきたすおそれがある。			

※ 平成26年10月30日 公表済み

10. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1 0 月 3 0 日	外2102	車 名：キャデラック 型 式：ABA-A1LL 通称名：C T S	9 2	平成25年10月 7 日～ 平成26年 4 月 2 1 日
不具合の部位等	ワイパーシステムにおいて、凍結などによりワイパーの動きが制限された状態で、ワイパーのスイッチを”ON”にしたままジャンプスタートを行うと、大電流が流れてワイパーモジュールが損傷することがある。そのため、最悪の場合、ワイパーが作動しなくなり視界を確保できないおそれがある。			

※ 平成26年10月30日 公表済み

11. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1 0 月 3 0 日	外2104	車 名：キャデラック 型 式：ABA-X322C 通称名：C T S	2 5	平成23年 3 月 2 5 日～ 平成23年12月 7 日
不具合の部位等	イグニッションキーにキーホルダー等を装着していると、走行振動等により、イグニッションキーが”RUN”位置以外に動いてしまうことがある。その場合、車両電源が断たれるため、エンジンが停止するとともに、ブレーキ補助やパワーステアリング等が機能せず、運転操作に支障をきたす。また、この状態で事故を起こした場合、エアバッグが展開しないことがあり、被害が拡大するおそれがある。			

※ 平成26年10月30日 公表済み

12. 届出者：株式会社ヤナセグローバルモーターズ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
1 0 月 3 1 日	外2106	車 名：キャデラック 型 式：不明 通称名：X T S	4 2	平成 2 4 年 9 月 1 9 日～ 平成 2 6 年 4 月 3 日
不具合の部位等	エレクトロニックパーキングブレーキコントロールモジュールのプログラムが不適切なため、エレクトロニックパーキングブレーキ解除時にピストンアクチュエーションアームが完全に戻らないものがある。そのため、リアブレーキの引きずりが発生し、最悪の場合、リアブレーキが過熱して発火するおそれがある。			

※ 平成26年10月31日 公表済み

【参考】

●平成 2 6 年 1 0 月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	2 2 件 (+ 2)	1 6 件 (+ 1)	6 件 (+ 1)
輸入車	1 5 件 (+ 6)	9 件 (+ 5)	6 件 (+ 1)
計	3 7 件 (+ 8)	2 5 件 (+ 6)	1 2 件 (+ 2)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（平成 2 6 年度）

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	20(+2)	11(+4)	31(+6)	1,147,842(+123,920)	39,200(+31,700)	1,187,042(+155,620)
5	10(+2)	11(-2)	21(±0)	58,716(-211,951)	5,374(-113,316)	64,090(-325,267)
6	14(- 9)	17(+8)	31(- 1)	2,118,282(+1,412,644)	47,959(+43,627)	2,166,241(+1,456,271)
7	29(+13)	13(+3)	42(+16)	361,914(-726,397)	33,475(+18,818)	395,389(-707,579)
8	16(+3)	12(+8)	28(+11)	41,804(+36,467)	20,013(+19,103)	61,817(+55,570)
9	13(- 9)	12(+2)	25(- 7)	928,022(-992,501)	113,190(+110,655)	1,041,212(-881,846)
10	22(+2)	15(+6)	37(+8)	1,936,015(+1,635,792)	58,002(+51,400)	1,994,017(+1,687,192)
小計	124(+4)	91(+29)	215(+33)	6,592,595(+1,277,974)	317,213(+161,987)	6,909,808(+1,439,961)

※ () 内は、対前年比